

会議録（１）

会議の名称	平成２８年度 第２回飯能市男女共同参画審議会
開催日時	平成２８年８月２９日（月） 開会 午前１０時００分 閉会 午前１１時３０分
開催場所	市役所本庁舎別館２階 会議室３
議長氏名	南林 さえ子
出席委員	小野 加津美、加藤 巳佐子、金子 富佐子、児嶋 雅子、小平 陽一 出水 仁、南林 さえ子、矢島 崇行、
欠席委員	永山 隆、渡辺 孝子
説明者の職氏名	市民生活部長 益子 恵子 地域活動支援課長 竹井 伸次 市民活動・男女共同参画・国際担当 諸井 涼子 市民活動・男女共同参画・国際担当 岡田 紀子
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	市民生活部長 益子恵子 地域活動支援課長 竹井 伸次 市民活動・男女共同参画・国際担当 諸井 涼子 市民活動・男女共同参画・国際担当 岡田 紀子

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項

- （１）第５次飯能市男女共同参画プラン策定のための市民意識調査について
事務局から資料１、資料２及び市民意識調査票について説明をした後、審議を行った。

会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
課長	<p>本日は、平成28年度第2回飯能市男女共同参画審議会に、お忙しいところ御出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>私は本日の進行を務めさせていただきます、地域活動支援課の竹井です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議でございますが、1時間30分を予定しております。11時30分には閉会したいと考えておりますので、皆さまの御協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、まず資料の確認をさせていただきます。</p> <p>【資料確認】</p>
課長	<p>不足はございませんでしょうか。</p> <p>【不足なし】</p>
課長	<p>ここで定足数の御報告をいたします。本日は永山委員、渡辺委員から都合により欠席する旨の御連絡をいただいています。よって、8名の委員が御出席でございますので、飯能市男女共同参画推進条例第19条第2項の規定によりまして、本会議は成立しておりますことを御報告申し上げます。</p> <p>それでは只今から、平成28年度第2回飯能市男女共同参画審議会を開会します。</p> <p>お手元の次第に基づき、進行をさせていただきます。</p> <p>次第の2、あいさつです。はじめに、南林会長からごあいさつをお願いいたします。</p>
会長	<p>【会長あいさつ】</p>
課長	<p>ありがとうございました。続きまして、市民生活部益子部長からごあいさつを申し上げます。</p>
部長	<p>【部長あいさつ】</p>

課長	<p>議事に入る前に御連絡をさせていただきます。</p> <p>本日の会議は、審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、原則公開とさせていただいておりますが、本日は傍聴の申し込みはありませんでしたので、御報告をさせていただきます。</p> <p>それでは、飯能市男女共同参画推進条例第19条第1項に「審議会は、会長が招集し会議の議長となる。」と定められていますので、南林会長に議事の進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>次第の3、議事(1)第5次飯能市男女共同参画プラン策定のための市民意識調査について、審議いたします。</p> <p>事務局に説明を求めます。</p> <p>【資料に基づき事務局が説明】</p>
会長	<p>只今、事務局から説明がありましたが、御意見、御質問はございますか。</p> <p>まず、70歳以上の市民をアンケートの対象にするかということについて、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>私は、できる限り調査範囲を狭めない方が良いと思います。前回の意識調査と同じく、80歳未満を対象とすることが良いと思います。</p>
事務局	<p>事務局では、男女共同参画の推進には、できる限り若い世代の意見を反映させたいと考え、70歳未満に変更する案を提案しました。</p>
会長	<p>私がかかわっている調査では、70歳代の回答率は高いです。しかし、75歳以上の回答は、無回答の設問も多く、精度という意味では低くなります。</p> <p>私も、今後の男女共同参画事業のプランニングには、若い世代の意識調査が必要だと考えます。</p> <p>したがって事務局の提案に賛成ですが、皆さまはいかがでしょう。</p>
委員	<p>私は仕事をお辞めになった世代は対象外が良いと思います。ただし、高齢者を除外していると誤解されないよう、書き方などに工夫が必要だと思います。</p>

委員	<p>私は最初に、年齢で区切ることに疑問を持ちました。しかし皆さまの御意見を伺うと、趣旨が明確であれば年齢で区切っても良いと思います。</p>
委員	<p>高齢者の定義は65歳以上ですが、現実には80歳を過ぎたら本当の高齢者だと私は感じています。ただし、80歳を過ぎても地域に貢献したいと活躍されている方もいますし、そういう意味では高齢者の男女共同参画に対する意見も必要だと思います。</p>
委員	<p>私は、第5次飯能市男女共同参画プラン策定のための市民意識調査という意味で、若い世代の意見を多く聴きたいと思います。</p>
委員	<p>私は、若い方にアンケートに答えてもらうにはどうしたら良いか、お年を召した方に正しく答えていただくにはどうしたら良いか、という論点の方が大切だと思います。</p> <p>また、75歳以上でも元気な方は多いので、年代はあまり関係ないと思います。</p>
委員	<p>意識調査ですので、設問には仕事だけではなく生活のこともありますし、70歳以上の回答率が悪くても良いと思います。反対に、若い世代は回答率が高いのでしょうか。</p>
事務局	<p>前回の意識調査の回答率ですが、20歳代が16.5%、30歳代が25.5%、40歳代が32.5%、50歳代が39.5%、60歳代が43.6%、70歳代44.0%となっており、若い世代ほど低い結果となりました。</p>
委員	<p>今回の調査では、年代によって対象の人数を変えるのでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局としては、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代で各400人を考えています。</p>
委員	<p>私は、前回20歳から80歳未満で行っていますので、推移を見る目的もあるので、たとえ70歳代は人数を少なくしたとしても、80歳未満を対象とするのが良いと思います。</p>
委員	<p>若い世代のアンケート回収率が低いことについて、調査方法はどのよ</p>

事務局	<p>うにするのでしょうか。</p> <p>私が大学生に聞いた話ですが、紙のアンケートではなくSNSなどを使ったアンケートだと答えやすいということでした。事務局でもアプリやホームページを使うなどの方法を検討しましたが、システム面でまだ難しいので今回は紙ベースで行う予定です。</p> <p>また、アンケートにボールペンなどの御礼を同封する方法がありますが、予算の関係で今回はお礼状と督促状を兼ねた葉書を送ることを予定しています。</p> <p>アンケートの対象とする年代につきましては、皆さまの御意見をもとに、事務局にて再考したいと思います。</p>
委員	<p>無作為抽出について、男女比はどのようにするのでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局で、各世代の市民の人数を調べています。20歳代から60歳代までは男女比が約半々となっていますが、70歳代以上は女性の比率が高くなっています。この情報をもとに、実際の男女比率と無作為抽出する人数の男女比率が合うように、抽出する予定です。</p>
会長	<p>調査票の他の内容についてはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>設問の回答について、例えば「すべて」「一つだけ」「二つ」など回答方法に違いがある設問は、強調した方がより分かりやすいと思います。</p>
事務局	<p>アンダーラインを引く、太字にするなどに変更します。</p>
会長	<p>質問の内容は前回の意識調査票とほぼ同じでしょうか。今回はこちらで良いと思いますが、今後は変えていくのでしょうか。</p>
事務局	<p>前回の調査から5年間の推移を見る目的で前回の内容を基本としていますが、女性活躍推進法などの新しい政策は入れています。</p>
委員	<p>前回は、年齢層ごとに一定数を割り当てた上での無作為抽出となっていますが、その旨を調査票に記載するのでしょうか。</p>
事務局	<p>アンケートで答える方が「私は無作為で選ばれた」という認識を持っていただけたら良いと考えていますので、調査票にそこまで記載する予</p>

	定はありません。
会長	調査票1ページ目の「調査には宛名の御本人がお答えください。」という記載は市の慣例でしょうか。
事務局	宛名御本人が回答していただく必要がありますので、この文を記載することが重要となります。
委員	ページ数について、前回の全体で18ページから、今回は10ページになっています。ページ数が多過ぎると答える方が嫌になってしまうので、字は少し小さいですがこれで良いと思います。
会長	問9-1「寝たきりになった場合」、問9-2「介護が必要な認知症になった場合」の設問についてはいかがでしょうか。
委員	設問を「介護が必要になった場合」で、一つにまとめるのはいかがでしょうか。設問を分ける必要があるのでしょうか。
委員	介護と一言と言っても、医療の必要な在宅の方もいますし、認知症で寝たきりでない方がいるのも現実です。
会長	市民としては、「寝たきり」と「認知症」になった場合の回答が違ってくるのだと思います。そういう意味では設問は分けた方が良いと思います。
事務局	「寝たきり」という言葉自体について、いかがでしょうか。
委員	それ自体は現場でも使いますので、問題ないと思います。
委員	問14の設問に「NPO」という組織を選択肢に入れてはいかがでしょうか。
事務局	この設問は活動で分けていますので、必要がないと考えています。
委員	最終的な市民意識調査票については、事務局にて再考し、また委員にお知らせいただけますでしょうか。

事務局	<p>分かりました。</p>
会長	<p>他に御意見、御質問はございませんか。 それでは、議事（１）について、以上でよろしいでしょうか。</p> <p>【異議なし】</p>
会長	<p>議事はすべて終了しましたので、議長の職をとかせていただきます。 ありがとうございます。</p>
課長	<p>南林会長、ありがとうございました。</p> <p>つづきまして、次第の４、その他です。事務局から前回の審議会以降の男女共同参画に関連する取組について、２点御報告をさせていただきます。</p> <p>まず、資料３を御覧ください。</p> <p>地域活動支援課と企画調整課にて、審議会等の女性委員の登用率調査を行いました。平成２８年４月１日現在の状況は、５３の審議会等のうち、３７の審議会等に女性委員が参画しています。委員総数５１１人、うち女性委員が１３２人、女性委員の割合は２５．８％です。平成２７年度は２４．６％でしたので、１．２ポイント上昇しており、各審議会や委員会で女性の登用に努めていただいています。</p> <p>次に、資料４についてです。</p> <p>７月２日、飯能市市民活動センターにて、男女共同参画川柳表彰式・第１回男女共同参画セミナーを開催しました。川柳につきましては、１００作品の応募があり、その中から１０作品を表彰しました。セミナーにつきましては、審議会委員の小平先生に「僕が家庭科教師になったわけ」と題した講演をいただきました。先生の講演を参考に、性的役割分担についての意識改革につながるよう、今後も啓発していきます。</p> <p>以上、男女共同参画に関連する取組についての御報告です。</p> <p>次に、次回会議の開催時期は、平成２９年３月を予定しています。議事等、詳細につきましては、決定次第御連絡をさせていただきます。</p> <p>事務局からは以上でございますが、委員の皆さまから御連絡等はございますか。</p> <p>ないようですので、これをもちまして第２回飯能市男女共同参画審議会を閉会とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。

平成 年 月 日

議長の署名
